

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第7部門第4区分
【発行日】平成30年10月4日(2018.10.4)

【公開番号】特開2018-110496(P2018-110496A)
【公開日】平成30年7月12日(2018.7.12)
【年通号数】公開・登録公報2018-026
【出願番号】特願2017-465(P2017-465)
【国際特許分類】

H 0 2 K 35/02 (2006.01)

【F I】

H 0 2 K 35/02

【手続補正書】

【提出日】平成30年8月21日(2018.8.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

回転する移動部に取り付けられた第1マグネットの移動によって、前記第1マグネットに反発力を与える極性の第1パイプ内にある第2マグネットが、第1コイル内を移動して発電する発電装置に於いて、

前記第1パイプの両端に回転する移動部と前記第1パイプの外側に前記第1コイルを有する発電部を、前記第2マグネットの移動方向が、前記移動部の回転軸と平行になるように固定し、

前記第1マグネットを移動して近づけ、前記第2マグネットを反発させて前記第1コイル内を移動させ、誘導電流を発生させて発電し、

前記第1マグネットが移動して遠ざかり、続いて、他方の移動部に取り付けた第3マグネットを移動して近づけ、前記第2マグネットに反発力を与え、前記第2マグネットが前記第1コイル内を移動し、誘導電流を発生させて発電し、電気エネルギーを取得する事を特徴とした発電装置。

【請求項2】

請求項1記載の発電装置において、前記第1コイルの内部に前記第1パイプを圧入して発電部を形成し、前記第1コイルから前記第1パイプを抜き取り、前記第1パイプと前記第1コイルを分離できるようにしたことを特徴とした発電装置。

【請求項3】

回転する移動部に取り付けられた第1マグネットの移動によって、前記第1マグネットに反発力を与える極性の第2パイプ内にある第2マグネットが、第1コイル内を移動して発電する発電装置に於いて、

前記第2パイプの両端に回転する移動部と前記第2パイプの外側に前記第1コイルと第2コイルを有する発電部を、前記第2マグネットの移動方向が、前記移動部の回転軸と平行になるように固定し、

前記第2マグネットと第4マグネットを、非磁性体の連結板で接続して形成される発電体を前記第2パイプ内に挿入し、

第1マグネットを移動して近づけ、前記第2マグネットを反発させて、前記第2マグネットが前記第1コイル内を移動し、誘導電流を発生させて発電し、

前記第1マグネットが移動して遠ざかり、続いて、他方の移動部に取り付けた第3マグネ

ットを移動して近づけ、前記第4マグネットに反発力を与え、前記第4マグネットが前記第2コイル内を移動し、誘導電流を発生させて発電し、電気エネルギーを取得する事を特徴とした発電装置。

【請求項4】

請求項3記載の発電装置において、前記第4マグネットと前記第2マグネット間の距離を、前記連結板の長さにより変化させたことを特徴とした発電装置。

【請求項5】

請求項3記載の発電装置において、前記発電部を回転軸の車軸から同じ距離で、角度が違う位置に複数個、第1固定台に取り付け、
前記各発電部の第2マグネットに反発力を与える前記第1マグネットを、車軸から同じ距離に複数個、回転する第1回転体に取り付け、
同様に、前記各発電部の第4マグネットに反発力を与え、他方の前記移動部に取り付けた第3マグネットを、車軸から同じ距離に複数個、回転する第2回転体に取り付け、
前記発電体の移動方向が、各回転体の回転軸と平行になるように各発電部を前記第1固定台に固定し、
前記第1マグネットを移動して近づけ、前記第2マグネットを反発させて、前記第2マグネットが前記第1コイル内を移動し、誘導電流を発生させて発電し、
前記第1マグネットが移動して遠ざかり、続いて、第3マグネットを移動して近づけ、前記第4マグネットに反発力を与え、前記第4マグネットが前記第2コイル内を移動し、誘導電流を発生させて発電する事を特徴とした発電装置。

【請求項6】

請求項5記載の発電装置において、前記第1固定台に切り込みを入れて、前記車軸より前記第1固定台が取り外しできるようにした事を特徴とした発電装置。

【請求項7】

回転する移動部に取り付けられた第1マグネットの移動によって、前記第1マグネットより吸引力を得る極性の第6マグネットが、第4コイル内を移動して発電する発電装置において、
第4固定台に、前記第1マグネットを有し、回転する移動部である第1回転体と、前記第4コイルを取り付け、
前記第6マグネットと連結板を接続して形成される発電体を前記第4コイル内に挿入し、
前記発電体の第6マグネットに吸引力を与える前記第1マグネットを、前記第1回転体の回転軸を中心に、円周方向へ配置して回転させ、
前記発電体の回転方向が、前記第1回転体の回転方向と同じ向きになるようにし、
前記第1マグネットの吸引力により、前記発電体を回転させて、前記第4コイルに誘導電流を発生させて発電し、電気エネルギーを取得する事を特徴とした発電装置。

【請求項8】

請求項7記載の発電装置において、前記第6マグネットを有し、取り外し可能な前記連結板を組み合わせ、前記発電体を円形に形成できるようにした事を特徴とした発電装置。